



会報

あすか

会報 16号
2018年3月吉日発行

NPO（特定非営利活動）法人 **あすかユーアイネット**

〒301-0043 龍ヶ崎市松葉3丁目12番地2

事務所（龍ヶ崎）電話：0297-60-8281 FAX：0297-60-8288

連絡所（牛久）電話：029-830-8307 Fax：029-830-8308

（各事業直通）

・訪問介護事業・障害福祉サービス事業（あすか）

電話（龍ヶ崎）0297-60-8282 （牛久）029-874-0477

・通所介護事業（明日花の家 らくてい）

電話（龍ヶ崎）0297-60-8283 （牛久）029-874-0477

・相談支援事業・障がい児相談支援事業（あすか）

電話（龍ヶ崎）0297-85-2339 （牛久）029-874-0477

<http://www.asuka-npo.or.jp> 発行責任者 中村恵美子

～地域包括ケアシステムの推進～

平成30年4月から「地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法の一部を改正する法律案」が施行され、改正の柱となる次の2点で、地域包括ケアシステムが強化されます。

① 地域包括ケアシステムの深化、推進

高齢者の自立支援と要介護状態の重度化を防止し、地域共生社会の実現を図ること。

② 介護保険制度の持続可能性の確保

制度の持続可能性を確保することに配慮し、サービスを必要とする人に必要なサービスを提供すること。

介護保険と同様に「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築推進事業が進められています。精神障害者が地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労）、地域の助け合い、教育などが包括的に確保された地域包括ケアシステムも推進して行くことになります。

あすかユーアイネットも、地域包括ケアシステムの中の一員として活動を推進していきたいと思っています。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

（「厚労省老健局総務課 地域包括ケアシステムの強化のための介護保険法等の一部を改正する法律案」より抜粋）

（「精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築推進事業実施要項」より抜粋）



役員紹介（敬称略）下記の役員にて活動しています。引き続きご支援をお願いします。

役員 代表理事：中村恵美子、副代表：伊藤きり子、事務局長理事：武藤成江
理事：池田尚人、加瀬柁夫 会長理事：宇井良夫 監事：夏目理一

平成 28 年度 貸借対照表 (平成 29 年 3 月 31 日現在)

特定非営利活動法人あすかユーアイネット 特定非営利活動に係る事業の会計

(円)

資産の部		負債の部	
流動資産		流動負債	
現金	159,068	未払金	5,846,703
普通預金	10,492,107	未払法人税等	1,247,400
ゆうちょ銀行	318,529	預り金	325,399
ゆうちょ銀行振替口座	423,010	流動負債合計	7,419,502
未収金	12,373,996	固定負債	
流動資産合計	23,766,710	固定負債合計	0
固定資産		負債合計	7,419,502
車両運搬具	1,080,000	正味財産の部	
什器備品	160,000	正味財産期首残高	12,425,757
減価償却累計額	-1,239,999	当期正味財産増減額	3,921,452
固定資産合計	1	正味財産合計	16,347,209
資産合計	23,766,711	負債及び正味財産合計	23,766,711

※決算内容は、平成 28 年度分です。本来は、5 月の総会后速やかにお知らせする予定でしたが、大変遅くなり
申し訳ありません。平成 29 年度分は、本年 5 月総会后のお知らせになりますのでお待ちください。

平成 28 年度活動計算書 (H28.4.1~H29.3.31)

活動計算書 28年度(28年4月1日~29年3月31日)			
科 目	備 考	金 額 (千円)	
1. 収入			
受取会費		162	162
ふれあい・特別支援教育		9,129	
介護保険訪問介護	あすか	33,918	
介護保険通所介護	明日花の家	18,995	
障がい福祉サービス事業	あすか	16,371	
相談支援・障がい児相談		2,396	80,809
ボランティア受入評価益	ボランティア	2,230	
受取寄付金・雑収入		440	2,670
収入合計			83,641
2. 支出			
給料手当・雑給		60,260	
法定福利・福利厚生費		4,416	64,676
ボランティア評価費用	ボランティア	2,230	
会議・研修費・新聞図書		373	
通信運搬費		1,276	
減価償却費		34	
広告宣伝費・支払手数料		1,180	
事務用品費・消耗品費		1,420	
食料費・仕入	食材費	831	
ダイ燃料費・車両費	ガソリン代他	1,019	
印刷製本費		560	
水道光熱費・修繕費		876	
支払地代家賃	駐車借地含	1,658	
保険料		1,299	
諸会費・交際費・雑費他		668	13,424
法人・住民・事業税		1,620	1,620
支出合計			79,720
収支差額(次期活動費)			3,921

各年度の年間活動時間と収入

15 年度	323 時間	479 千円
16 年度	4,907 時間	8,145 千円
17 年度	15,050 時間	29,675 千円
18 年度	20,670 時間	38,680 千円
19 年度	22,930 時間	41,457 千円
20 年度	23,160 時間	40,853 千円
21 年度	19,590 時間	37,831 千円
22 年度	20,060 時間	37,393 千円
23 年度	34,700 時間	50,450 千円
24 年度	40,500 時間	69,384 千円
25 年度	40,700 時間	72,717 千円
26 年度	44,897 時間	70,598 千円
27 年度	50,760 時間	77,522 千円
28 年度	51,690 時間	83,641 千円

※寄付金

園城典雄様より 50,000 円
ありがとうございました。

○ 2017 年度 あすかユーマイネットの茨城県や龍ヶ崎市内での役割

NPO 関係

- ・ 龍ヶ崎市福祉と共生の会(福祉系 NPO 法人の集まり) 会員
- ・ 龍ヶ崎市地域たすけあい協議体準備委員会 委員
- ・ 龍ヶ崎市市民活動センター 活動団体
- ・ 子育て支援ネットワーク会議メンバー

障がい者関係

- ・ 茨城県精神障害者事業者協会 会員 在宅部会リーダー
- ・ 龍ヶ崎市自立支援協議会 広報・啓発部/計画検討部会委員
- ・ 龍ヶ崎市障がい福祉サービス事業所連絡協議会 会員

介護関係

- ・ 龍ヶ崎市生活支援サポーター (通称かじサポ) 養成講座 訪問介護担当
- ・ 地域密着型通所介護等を地域に開かれたサービスの質の確保を図ることを目的とし運営推進会議を設置。地域との連携を図り 6 か月に 1 回以上開催



○ 2017 年度実施や参加した講演会

平成 29 年 9 月 30 日(土) 講演会「看取りから考える共生のまち」

- ・ 龍ヶ崎市福祉と共生の会で、講師に看取りの医者として著名なホームオン・クリニック つくば院長平野国美先生をお迎えし、地域での看取りを通して新しい共生社会について講演いただきました。当日は、定員 120 名のところ、それを上回る参加があり、地域の皆さんの意識の高さを感じました。

平成 29 年 11 月 11 日(土) あすか・かじサポプテ研修会

- ・ 介護予防・日常生活支援総合事業の緩和された家事援助サービスを担う龍ヶ崎市独自のかじサポ認定者のプテ研修会を実施しました。すでに市の認定を受けた通称かじサポ (かじサポーター) の皆さんに参加していただき、あすかの一員として協力いただくべく研修をしました。当日は 22 名の参加があり、「実際に働きたい」「何らかの活動をしたい」、雇用形態となるかじサポ希望者に限らず、「庭仕事」「車の送迎」「人の集まる場所づくりに興味あり」など、いろいろな声を聴かせていただき、出会いの感動がありました。30 年 4 月から、緩和された家事援助サービスをスタートし、かじサポの皆さんに動いていただくこととなります。



平成 29 年 11 月 26 日(日) 民生委員制度創設百周年記念式典のシンポジウム

「龍ヶ崎市における地域福祉の現状と展望」というテーマで、パネラーとして代表理事が出席しました。子ども、障がい者、高齢者の内、高齢者の現状について発表しました。

平成 30 年 2 月 17 日(土) 地域たすけあいフォーラム「安心した老後を地域で考えよう」

龍ヶ崎市地域たすけあい協議体準備委員会と龍ヶ崎市高齢福祉課主催で、講師に「地域づくり総務大臣賞」を受賞した阿見町筑美区自治会長の中川純一氏をお迎えし地域づくりを学ぶとともに、龍ヶ崎市で活動されている 3 団体の事例を紹介していただき、今後の龍ヶ崎市のたすけあいについて考えました。

今後は地域たすけあい協議体の設置に向けて活動を進めていく予定です。

平成 30 年 2 月 17 日(土)18 日(日) 活動フェアパネル展示

ショッピングセンターサプラにて「りゅうがさき市民活動フェア」のパネル展に参加。

平成 30 年 3 月 3 日(土) 茨城県精神障害者事業者協会 第 1 回訪問支援部会開催

「関係機関と連携している事例を通して」～実際の事例を皆さんで考えてみて～参加者と対話形式でそれぞれの思いと高い専門性を持って意見交換会を行いました。

訪問介護のヘルパー研修会での一コマ

事業所では、毎月1回18:30より研修会を開催しています。振り返りや事例検討会などテーマを決め発表しています。今回は、ヘルパーさんに、仕事で励まされたり困ったり色々聞きたい・伝えたいと思ったり感じていることを話してもらいました。

A ヘルパー

この仕事、奥が深いな。利用者さんに自分の気持ちを入れ過ぎないようにしてニーズをしっかりつかみたい。身体が疲れたなあ、休みたいなあと思う時もあるけど利用者さんや仲間にも助けてもらい学ばせてもらっている。4年目のまだまだひよっこの私だけ頑張りたいな。

B ヘルパー

この仕事だけではできないなと思っていた。でも、続けていく中で変化を感じている。親の身体の低下を理解できず受け入れられなかったけれど、仕事をしていく中で利用者さんも親も自分もみんな大事だと気づいた。こう思えるようになったのはうれしい変化。人を育ててくれるありがたい仕事だなあと感じている。

C ヘルパー

自分の支援はこれで正しいのか誤っているのかと悩む時がある。自分で判断する危険をちょっと待ってと一緒に考えてくれるサービス提供責任者がいることがありがたい。

D ヘルパー

私の仕事大好き。させていただくという思いで利用者さん宅へ入っている。今日は何をしてあげようと考えられるのが喜び。無理せず余裕を持って焦らず自分の持っている最高のパフォーマンスをしよう。楽しみながらレベルアップして行きたいと思っている。

E ヘルパー

毎日悪戦苦闘している。報告しながらみんなで情報を共有できたとき、連携が取れていると感じ幸せに思う。予定通りにいかない時も皆でつなげていけるように努力したい。

F ヘルパー

自分の将来に役立てることができる。色々な方の所に訪問してもらい、様々な生き様を見せていただいている。皆さま頑張っておられることを感じ、自分も励まされて頑張れる。腰が痛くなったり疲れしたりして、身体の不調を感じることはあるけど、辞めたいとは思わない。なんだろう。ヘルパーをやったことがない人には分からないかもしれない。この仕事は不思議で面白いなと思っている。

デイサービス「明日花の家」らくていの活動報告

見守りが必要になったり…目が離せなくなったり…高齢者のためのちいさなデイサービス。行き届いた手厚い介護が自慢。自宅と同じように、のんびりゆったりくつろいで、歌を歌ったり時には昼寝をしたり、思い思いにお過ごしいただけます。



【編集後記】

公助の限界が見える中、自助・共助が叫ばれています。皆様にお力添えをいただいで歩んでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。